

東海第2 反対議連 連続講座 (第3回)

「地域資源を活用した発電と地域社会形成」



「東海第2 原発に反対する茨城県自治体議員連盟」は、市民の皆さんと学び、議論しながら“東海第2 原発廃炉後”を展望した地域政策をつくるための連続講座に取り組んでいます。

その第3回目は、小林久・茨城大学農学部教授を講師にお迎えし、地域のポテンシャルを活かしたエネルギー自給の可能性と茨城県における具体的道筋を考える企画です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講師：小林久さん（茨城大学農学部教授・いばらき自然エネルギーネットワーク代表）

【略歴】1955年生まれ。研究分野：農業土木学、農村計画学、地域資源管理。『事例に学ぶ 小水力発電』（共編、2015年）、『地域による地域のためのエネルギー戦略-小水力・森林バイオマスの利用と農山村の生存』（共著、2015年）など著書・論文多数。自然エネルギーに関する産官学の情報共有、意見交換を通じ、県内における自然エネ推進を図る“いばらき自然エネルギーネットワーク”の代表として実践、活躍中。

と き：2015年10月3日（土）13時30分開始

ところ：茨城大学農学部・こぶし会館2階研修B室
(稲敷郡阿見町中央3-21-1 / ☎029 (887) 1261)

資料代：500円

主 催：東海第2 原発に反対する茨城県自治体議員連盟

お問い合わせ：玉造順一（事務局） ☎029 (303) 1255